

成人への歩み 一歩ずつ着実に

ひきよせ



少年会総会 (5月24日、記事4頁)

発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com
ホームページ
bariten.main.jp



LINE 友達登録
お願いします



ようぼく一斉活動日 (左:南空知支部【6月1日、夕張大教会】、右:旭川支部【5月31日、上川分教会】)

お知らせ

婦人会 第50回夕張支部総会	6月22日(日)
青年会 夕張分会総会	6月28日(土)
月次祭	7月15日(火) 9時30分開扉献饌
みちのだい育み塾	7月22日(火)
少年会 どもおぢばがえり	7月27日~30日

地域の教友が、心一つに 第4回ようぼく一斉活動日

この5月31日、6月1日には、教祖140年祭へ向かう教内の心をまとめようとの意向で、第4回目のようぼく一斉活動日が開催され、各支部の会場で、催しの内容も様々に、たくさんの方々が集った。

千恵広支部では、祝梅分教会を会場に、奥村教区長先生の講話があり、「ようぼくの自覚と実動」と題して、年祭まで残り7ヶ月の歩み方について聞かせて頂き、勇み心を頂いた。約100名の参加者の中には、今年から動き出した半導体メーカーのラピダスで、千歳に引っ越してきた家族もおられた。

また、夕張大教会を会場に約120名が参加した南空知支部では、若い大瀬裕太・江別分教会長が感話に立ち、長年住んでいた三重や天理の生活から、教会長として北海道に来られ、不思議な御守護に守られて歩んでいる話をされた。

空知支部では、おさづけの理をテーマに、体験談と取り次ぎ合いが行われ、さらに旭川支部では、おてふりや9ツの鳴り物の基本である、合わせ方を学んだ。

次回は、11月1日、2日に設定されています。各支部の日時と会場を確認して、ぜひとも最後の活動日に参加しましょう。
(藤崎実)

ささやかな努力にも お応え下さる親心

五月月次祭の模様

神殿講話全文は、
右のQRから
ご覧いただけます



5月15日、夕張大教会では月次祭が執り行われ、神殿内には、陽気なみかぐらうたの地歌と、鳴り物の音色が響きわたり、大勢の参拝者が感謝とおたすけの祈りをささげた。

またこの日は辞令交付がなされ、少年会隊長、青年会分会委員長また大教会准員の辞令が、大教会長よりそれぞれに手渡された。

講話には大教会長が壇上にながり、「この春、夕張大教会では各会が総会を開催してください。心より感謝申し上げます。

今月24日には、少年会総会が開催され、子どもたちの信仰心を育む大切な機会となります。おつとめまなびや少年会長様からのメッセージ、楽しい企画も用意されていますので、ぜひご家族でお越しください。

来月は、節目の第50回婦人会総会です。40周年時の写真

から、婦人会の温かい活動の歴史が伝わります。この活動が、新しい世代にも受け継がれることを願っています。

その翌週28日には、青年会が新委員長となつて初の分会総会を開催いたします。青年会本部委員をお招きするなど、青年たちの熱意意気込みを感じます。各会の活動が活発に展開され、人材育成に力を注げるよう、親神様のお力添えをお願いするばかりです。

先月末の4月をもって、約1年間にわたる年祭活動の一環である登殿参列が無事に終了いたしました。夕張部内の教会長が、かぐら・かんろだいつとめを拝するという、十年



陽気なおつとめがつとめられた

に一度の貴重な機会でした。ご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

このおつとめは、おやしきでしかつとめられない、特別な意味を持ちます。私たちは、このおつとめから示される神様の働きをいただくため、自身の教会でもおつとめをします。真剣な心で祭文を奏上し、おつとめをすればするほど、その働きがいただけると思っております。

私たちの「つとめ」には二つの側面があります。一つは、皆様と共に勤める「座りつとめ」や「てをどり」といった「おつとめ」。もう一つは、日々のつとめ方、すなわち「ようぼく」としての日常生活における実践

です。人様に親切にし、たすけに尽くすという、この二つの実践が不可欠です。「おつとめ」では、私たちの心が込められたおつとめこそが、親神様に届くと信じています。これは「理」

を信じることです。私が信じる「理」は、人の心を信じるということですが、教祖が「積んだ理は消えん」とおっしゃったように、心を尽くして行うことの尊さを信じています。

最近、私の信仰心に変化がありました。これまで「私が信じ、神様に応えて欲しい」という思いが強かったのですが、ふと「神様の方が、私の働くことを信じてくれているのではないか？」と思うようになったのです。親神様が私たちを信じてくださっているからこそ、その期待に応えたいという気持ちが行動の源となりました。この気づきが、私のおつとめに対する気持ち

を大きく変えました。もう一つの「日々のつとめ方」として、私が教祖の「ひながた」から学び、心に刻んでいる実践は、「自分がもらって嬉しいものを人にあげる」ということです。自分の喜びを分かち合う気持ちで、惜しみなく差し出す。これこそが、「ようぼく」としての日々のつとめ方だと感じています。特にこの年祭活動中、私が意識しているのは、教祖が全てを人々に施した「ひながた」、すなわち「施し」です。

先日、祝梅分教会で高橋美津志先生の十年祭に参拝し、先生の「悩み相談室」を再読しました。先生は、悩みに寄り添いながらも、「徳は積まれましたか？」と問いかけられます。徳とは「持つことで自分が喜べる姿」であり、徳が尽きると「持っているものに苦しめられる」と説かれました。また、「徳を積むためには施しをしましょう」という教えも印象的でした。自分が持っている以上のものを与える「程を超すから施し」という言葉は、深く心に響きました。

教祖は、「真実を神が受け取れば乞食はさきん」とおっしゃいました。物を施し、心の執着を去れば、心に明るさが生まれ、自然と陽気ぐらしの道が開けるのです。このお言葉を胸に、私も「施し」について考え続けています。本日も用意したお下がりのお米も、そうした思いからです。皆様の顔つなぎやおたすけのきっかけとなり、「元氣？」と声をかける一助となれば幸いです。これも、私なりに教祖の「ひながた」に近づこうとする、ささやかな実践だと思っております。

先日、空知分教会を訪ねた折、お土産を探していたところ、可愛らしい「猫のパン」を見つけ、購入しました。その後、帰路でコロナ禍で長らく訪問を控えていた江別の信者さんのことを思い出しました。

和牛の飼育を再開したという話を聞き、ご苦労を案じて顔を見に行きたい気持ちが募りましたので、先ほどの「猫のパン」を手土産にお宅へ向かいました。

会えるか分かりませんでした。が、玄関を開けると、なんと猫が出てきて出迎えてくれたのです。驚きながら呼び鈴を鳴らすと、初めてお会いする奥様が出てきてくださいました。

ご苦労をねぎらい、パンを差し出すと、「私、猫大好きなんです！嬉しい！」と大変喜んでくださいました。この出会いによって、また次へとつながる縁ができたと感じ、とても嬉しかったです。

この出来事を通じて、やはり神様は、私たちが「ようぼらしくつとめたい」と願い、自分のものを惜しまずに人にあげようとする心に応えてくださるのだと、改めて感じる事ができました」と話された。(藤崎勇)

もらっていたことを思い返し、「お借りしている体を日々大事に使えていなかったんだな…。神様、申し訳ありません。」とお詫びをし、神殿で義妹におさづけを取り次いでいただきました。

その後は体に広がることなく、最後の布教実習まで元気に歩かせていただきました。この身上の他にも、親心を感じる瞬間がたくさんあり、おぢばの有難さを実感しました。

ある先生から、「親神様には日々生かされていることに感謝をし、人との出会いは教祖に感謝するんだよ」と教えてもらったことが心に残っています。

今回の講習で出会わせていただいた先生達、受講生の方々、お世話になった詰所の皆様のお陰で、毎日を喜び楽しく過ごすことができました。

講習で学ばせていただいたことを毎日の生活に生かして、親神様、教祖に喜んでいただけるよう、今後も心の成人をさせていただきたいと思えます。

ありがとうございました。

うちに、気付けば自分の心も身体も元気になり、おぢばで有り難い経験をさせていただきました。

「起きてくることにはすべて親神様、教祖の親心が込められている」そう気付くと、今まで喜べなかった事も以前よりも前向きに捉えられるようになりました。これから日常生活に戻っても日々感謝や喜び心を忘れず、人のために自分にできるおたすけをしていきたいと思えます。

また今回の中・後期では、娘が初めて親元から離れて託児所に通い、寂しさから涙する姿がありましたが、毎日「ママとおなじ！」とハッピーを着て頑張ってくれました。お迎えに行くと笑顔で遊ぶ姿も見られ、短い期間で成長が感じられました。途中、娘の発熱や帰りの飛行機のトラブルもありましたが、詰所の方々や家族に支えて頂き、無事に乗り越えることができました。

本当にありがとうございました。

教人資格講習会を受講して――

この旬に一步前進。昨年5月から先月までに、教人講習全期間を受講されたお一人から、感想をご寄稿いただきました。

長沼分教会 藤北沙穂里

昨年の春に前期、この度中期・後期を受講させていただきました。

修養科を修了してから18年程経ち、またおぢばで教理を学びたくても講習へ行く勇気がなかなか持てず、一年以上受講することを悩んでいました。それから暫くして、義妹と行くことが決まり、「年祭活動の中、一緒に行かせてもらえる。心強い。有難い！」という気持ちに変わり、一緒におぢばへ帰らせていただきました。

中期では教祖伝を中心に教祖の「ひながた」を深く学び、受講生の方達と練り合いを重ね、先生達から聞くお話はとても分かりやすく「もっと聞かせてもらいたい！」と思いながら毎日をご進していました。

ところがある日、左の脇腹に痛みがあり確認してみると、小さな赤い発疹が…。

日に日に痛みが増し病院へ行かせてもらうと、带状疱疹になっていました。授業や教養先生から「かしのもの、かりのもの」についてお話を聞かせて

長沼分教会 千葉靖子

この度、教人講習を受講させていただきました。昨年の前期受講前には体調を少し崩してしまい、不安な気持ちもありましたが、初日に先生から「この道は拝む信心ではなく尽くす信心。講習中に一つでもいいから、神様に受け取っていただけることをさせてもらうといいですよ」とお話を頂き、「自分にできることはさせてもらおう」と心に決めて過ごしました。

それから、クラスの方とお話をしている中でふと「おさづけをさせてもらいたいな」と心に浮かび、緊張しながらも声をかけ、二人の方におさづけを取り次がせていただきました。

毎日たすかりを願う中で、人のために何かをする喜びと親神様から頂いている御守護の有り難さを感じ、心の中は感謝の気持ちでいっぱいになりました。周りの人のことを願って過ごす

きつと立派な、ようぼくに

第46回少年会夕張団総会



5月24日10時から、第46回少年会夕張団総会が開催され、少年会員48名、育成会員46名、計94名が参加した。

今年の総会の司会進行役、梶川あいかさん（新生生）が、皆さんにごあいさつしてから、始まりのアナウンス。参拝の後、立石悠大さん（祝梅）、藤田明さん（幌都）の「開式の言葉」で総会がスタートした。

藤田大和育成会長は、おちばで神殿当番の御用のため出席がかなわなかったので、あらかじめ御告辞の代読と育成会長のメッセージ動画を収録したものをスクリーンに映写し、参加者に視聴してもらった。身体を自由に使わせていただけるご守護に感謝し、ひのき

しんをすることや、家族、友達、世界中の人たちのしあわせを願っておつとめをつとめること、こどもおちばがえり参加を楽しみにしていることなどが伝えられた。

おつとめまなびは3交替でつとめられ、各下り役割に当たる少年会員は緊張しながらも真剣な表情でおつとめをつとめた。

おつとめ後は、少年会員を代表して千葉斗理さん（北弘）、山本陽乃さん（善進道）が少年会員のちかいを宣誓し、続いて少年会の歌を全員で斉唱した。最後に木村舜さん（峰延）が「閉式の言葉」を述べて式を終了し、記念撮影の後、殿内の片付けを協力して行った。

着替えの後は昼食の時間とな

り、婦人会の皆さんによる美味しいカレーライス、フライドポテトにフルーツパフェをいただき、続く、お楽しみ行事では大広間で緑日ゲームが開かれた。射的、ゴルフ、スマートボールなどのゲームに加え今年懐かしの「型抜き」が久しぶりに設けられた。難易度が高いかと思われたが、クリアする強者もいた。最後はビンゴゲームが行われ、育成会員も含めて大いに盛り上がった。（育成会員向けあたり景品はお米！）

最後は神殿に集合し、こどもおちばがえりの告知として、渡部辰大善進道分教会長が映像で紹介し参加を呼びかけた。参拝後には、お下がりをお渡しし散会となった。

「準備、また当日参加し協力して下さい。下さった皆様にお礼申し上げます。運動会と日が重なり参加したくてもできなかった会員さんもいたと思いますが、寄りやすい開催日を計画しますので、来年も参加をよろしく願います」（藤田団長）



鼓笛隊後援会総会開催

5月15日13時より、夕張大教会神殿にて、鼓笛隊後援会総会が開催された。総会では、令和6年度活動報告ならびに決算報告が行われ、さらには今年度の予算案などについて、活発な意見交換がなされた。なお、今後は毎年5月15日の開催を予定している。（岩佐）

にいがけ実動について

◇活動報告
日時：5月29日 10時～15時
場所：岩見沢市内
参加人数：1名
◆次回以降実施予定
日時：6月29日 10時～15時
7月19日 10時～15時
集合場所：夕張大教会

第50回婦人会 夕張支部総会のご案内

日時：6月22日（日）
受付 9:30 開会 10:00
内容：よろづよ八首まなび、動画鑑賞、抽選会、昼食【お弁当】
ハッピー着用にて勤めさせていただきます

庶務部 5月

- ▽教会長資格検定講習会 5・27
- 林 恭子（壽仁）
- ▽新任教会長の集い 5・27
- 渡部 辰大（善進道）
- 渡部 優理（善進道）
- ▽みちのだい育み塾講習会 5・29
- 竹田 愛子（馬追）
- 高橋多江子（祝梅）
- ▽話所教養掛 5月 藤崎 勇（旭都）
- 6月 岩佐善昭（志加ノ谷）

大教会回覧抄 6月

- 1日 たすけ推進会議、役員会議
- 2日 会長、教区会議
- 4日 組例会
- 5日 会長夫妻、清真布分巡教
- 6日 会長、信者宅納骨
- 10日 会長夫妻、祝梅分前会長十年祭
- 11日 会長、志加ノ谷分巡教
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 19日 会長、札幌月次祭
- 22日 会長、おちばへ
- 23日 会長、兵神大参拝
- 24日 会長夫人、おちばへ
- 26日 会長、本部神殿当番
- 27日 会長、本部月次祭、遥拝式
- 28日 会長夫人、婦人会例会
- 29日 会長、新任教会長の集い
- 30日 会長夫人、帰会



廻廊ひのきしん（5月25日）